

## 産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 真庭 高等学校		
実践場面	真庭市内事業所と真庭高校のマッチングシート		
実践日時（時期）	令和5年8月～9月に依頼		
対象生徒（学年）	食農生産科、経営ビジネス科		
連携の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 包括連携協定（ 真庭商工会 ） <input type="checkbox"/> その他（ ）		
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
<b>実践の内容</b>			
<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度からの3年間、文部科学省より「マイスター・ハイスクール事業」の指定を受け、『自然・社会・人との対話で育む真庭型産業人材育成構想－「環境（SDGs）」×「アグリビジネス」→豊かな生き方・働き方』という事業名で取り組んでいる。</li> <li>地域をフィールドとした学びによって地域の次世代産業を担う真庭型産業人材育成プログラムの構築を進め、キャリア教育の充実によって進路決定するプログラムを策定し、取り組んできた。</li> <li>このような中で、マイスター・ハイスクール事業運営委員である真庭商工会会長からも学校への協力の意向を示していただいた。</li> </ul> <p><b>【実践内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年3月、真庭商工会役員会へ出向き、マイスター・ハイスクール事業の内容説明及び「岡山県教育委員会と経済6団体との包括連携協定」の確認を行い、学校と企業を結ぶ仲介役を担っていただくことを依頼した。</li> <li>学校・地域とも連携の意識はあるものの、具体的なプランを示すことができずにいたことから、相互の思いを結ぶべく「真庭市内事業所と真庭高校のマッチングシート」を作成し、商工会事務局から加盟の事業所へ依頼していただいた。</li> <li>マッチングシートの内容は、「事業所概要」「食農生産科・経営ビジネス科との連携について（協力の可否など）」「高校生との連携が可能な業務内容」「高校生に求めたいことや伝えたいこと」「連携希望の時期や期間」などで、事業所から真庭高校へFAXで回答する。</li> <li>生徒の想いや設定する課題を考え合わせ、学校と企業の双方がWin-Winの連携となるような活動ができるように内容検討を行い、今後の授業展開に生かしていく。</li> </ul>			
<b>実践による効果等</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>急なお願いとなったが、事業所から「協力したい」という回答や具体性のある連携案の提示もいただいた。</li> </ul>			



※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）